



～ボランティアスタッフ、収穫に向けて～

・小赤の家の裏庭でスナップえんどうが豊作です。お立ち寄りの際にはご希望の方にさしあげます。

・思いがけないご縁で畑を借りることができました。トマト、じゃがいも、レタス、赤シソ、クワイモなど色々と栽培しています。

<振替用紙を同封いたしました>

今年度は、隔月での発刊を予定しております。冊子継続へのお気持ちを頂戴できましたら励みになります。または、ゆうちょ口座間ですと手数料がかかりません。

記号：11130 番号：24188611

テヲツナグサンテンイチイチシン
シュウ

<夏期の受入始まっています>

各地での子どもキャンプや保養所の案内と、避難移住の相談もしています。お手元にこの冊子が届きましたら、なるべく早めにご希望の方々にお勧め頂けると助かります。

<ホームページ掲載情報募集！>

ホームページのリニューアルが済みました。

前号でもお伝えしましたが、「食料品店・飲食店」などの OK おすすめ情報を募集しています。

さらに今号では、「保育園・幼稚園」のロコミ情報を募集します。

実際にお子さんが通われている方からの放射能理解・対策を含めた各園のおすすめ情報を募集します。

発行元

手をつなぐ3. 11 信州



代表

森永 敦子

スタッフ

避難者のお母さん達

協力

海老原拓夫 (café されど)

編集後記

刻々と変化する国内の汚染状況と子どもたちの健康調査結果は海外でも注目されています。事故から2年が経過しても、意思を持って「つないだ手」を私たちは決して離すことはありません。引き続きのご支援ご協力をお願いいたします。ボランティアさん募集中!ご連絡を。

手をつなぐ3. 11 信州

〒390-0024

長野県松本市寿小赤 1297-1

TEL/FAX 0263-88-3103

E-mail

hinannet.nagano@gmail.com

URL

<http://www.tewotunagu311.net>

創刊2号

つなぐ・ささえる・よびかける

つながる

いっぽ

手をつなぐ 3.11 信州

2013年 / 6・7月号

(隔月発行)

国連人権理事会・サイドイベント報告

代表 森永 敦子

5月、突然のジュネーブ行きとなりました。目的は、アナンド・グローバー氏の福島報告に合わせたサイドイベントの開催と、海外の参加者に報告の信ぴょう性を伝えること。そして同時に日本政府がどのような答弁をするのかをしっかりとこの目で見聞きして行くことでした。

到着した翌日が国連人権理事会本会議。アナンド氏の報告持ち時間は全体で15分でした。他国での人権問題に続いて、最後の福島については、持ち時間残り1分のあたりから終了の合図が鳴ってもお構いなしに話し続け、延長して5分程度は話してくれたと思います。

彼は、「政府が『100mSV以下の低線量被ばくは安全』との見解を普及し、すべての政策を住民の意見を十分に反映しないまま決定・実行してきたこと」や、「リスク対経済効果の立場でなく、人権に基礎を置いて、公衆の被ばくを年間1mSV以下に低減するよう」に勧告しました。「事故の初期対応の問題」、「ヨウ素剤の配布について」、「原発労働者の健康調査と必要な治療を行うこと」など

たった2週間の日本滞在でここまで調べてくださったアナンド氏に感謝の思いでいっぱいになりました。

アナンド氏の勧告に対する日本政府の答弁は、「迅速な復興を実現するため、最大限の努力を費やした。・・・政府は医療専門家や最新の国際的基準の調査結果を尊重しつつ、被災者の健康管理に取り組んでいる。また、透明性の観点から、市民の多様な意見を聴くことが重要であると認識している。」など、どのような意味にでもとれるようなものでした。

翌日、国際人権NGOヒューマンライツナウから日本政府に対する反論の発表があった後、夕方からのサイドイベントで、主催者の国際人権NGOヒューマンライツナウ・伊藤和子氏、前双葉町長・井戸川克隆氏、CRM市民放射能測定所・岩田渉氏、そして私の4人で福島事故発生からの実情について発表を行いました。

アナンド氏は早口でしたが、非常に丁寧に前日の内容以上に説明してくれました。岩田さんはユーモアを交えながらもデータをしっかりと見せて日本政府公式発表との違いを伝え、井戸川さんのことばは、一つ一つが事故当時の事実を思い起こ

させ、胸にこたえました。途中の質疑が長引き、最後だった私の時間が非常に短くなり、かなり省略せねばならなくなってしまい残念でした。

日本での報道は、国連科学委員会(UNSCEAR)の方が大きく取り上げられていたようですね。

WHO本部の前で毎日抗議を行っているインデペンデントWHOのメンバーや、スイスの「アジサイの会」、このイベントに協力するために集まってくださっているボランティアなど、福島に想いを寄せてくれている人たちとの出会いに勇気づけられた旅でもありました。



<7月の開所カレンダー>

日	月	火	水	木	金	土
/30	7/1	2	3	4	5	6
	小赤	小赤			小赤	報告会
7	8	9	10	11	12	13
	小赤	小赤			小赤	
14	15	16	17	18	19	20
	小赤	小赤			小赤	
21	22	23	24	25	26	27
	小赤	小赤			浅間	
28	29	30	31	8/1	/2	/3
	小赤	小赤			小赤	七夕会

7/6(土) 16:00～ ジュネーブ報告会 市民活動サポートセンター

7/26(金) 10:00～ 【イベント】 シェアハウス浅間の家 で絵本サロン開催

7/中旬 小赤の家、浅間の家 夏期保養受入開始

小赤の家の開所は引き続き
月・火・金 10～15時

月・火・金：10～15時

土・日・祝：今まで通り休み

水・木：イベントや保養時以外は閉所いたします。

なお、開所時間外は留守電対応でPHS(携帯電話)の番号をお知らせしています。



ボランティアさん募集

開所日にボランティアさんをお願いしています。避難者の方、支援者の方、どなたでも。(0263-88-3103へ)

【私のCターン】

～原発震災からの避難

東京都・Sさん

2011年3月12日の土曜日、晴れ。
私と娘は東京都西多摩の駅に近い
自宅で夫の帰りを待っていた。

地震により止まっていた電車が早
朝に開通してから、主人がようやく帰
宅してくれた。前日に義母が深夜帰
宅した時と同様、家族が目の前にい
てくれることの有難味を実感する。

とりあえず朝食をとらせて主人を寝
かせた。1歳9か月の娘は気に入っ
たおもちゃで遊んでいた。テレビ・新
聞での情報は仕入れていたが、大き
な地震で津波があったことしかわか
らない。

当時東北地方に原発があることな
ど知らなかった私は、特別な恐怖心
を持ってはいなかったの、日課と
していつもどおり洗濯物をベランダ
に干していた。

地元の駅では電車がまだ止まっ
ていた。週末だというのに人通りが
全くない。いつもなら公民館や野球
場へ行く人の声をするのだが。米軍
基地からの音も全くなかった。昔の
お正月のような静けさだ、と思った。
背筋が凍るほどの静寂に泣けてき
た。

その後、昨年になって、手をつな
ぐ3.11信州を通じて、松本に母子疎
開をすることができた。

私自身は被災してはいないが、あ

の異常なる静寂を決して忘れない。
難治性悪性反復健忘症にはなっ
たまるか、と思う。



ボウさんからのおくりもの ～心においしいレシピ

【大根酢漬け】

- 1) 大根 10kg に対して塩 500g
で下漬けをする。
- 2) 3、4日ですんなりしてきた頃
に以下の合わせ材料で漬けな
おす。
 - ・水 1.5合
 - ・酢 3合
 - ・砂糖 600g
 - (・黄粉 好みで入れる)

～さらに数日置いて、漬かったら
できあがり～

あづみののお野菜配達始 まります

昨年度もご支援いただいた
JA 安曇野の婦人会さんや松
本市内お米農家さんからの支
援物資を継続的に頂く予定で
す。ご入り用の方は事務局ま
でお問い合わせください。

5/3 GW保養の家族と小赤の家でBBQ

5月3日、保養にきた家族4組、スタッフを交えた避難家族5組が集い、小赤の家でBBQをしました。「福島では外でBBQをすることはできません。そちらでは、外で食事をする楽しさを思い出すことはできるでしょうか？」という問いかけから企画しました。

小赤の家の裏庭に、支援者の方からお借りしたBBQコンロを持ち込んで、薪ストーブで暖をとりながら、子どもも大人もお腹いっぱいいただきました。

5/15 浅間の家 窓拭き 5/17 小赤の家 模様替え

5月15日、シェアハウス浅間の家の窓拭き・網戸貼りをお手伝い

いただきありがとうございました。

和気あいあいのランチタイムとなり、楽しい時間を過ごせました。

5月17日、大掃除を兼ねた模様替えを行いました。松本に来たばかりの避難パパさんがお手伝いくださってあっという間にすっきりとしたきれいな空間ができあがりました。

冬の寒さに締め切っていた小赤の家も、シェアハウス浅間の家も夏に向けての準備が整いました。

5/20 手当て法学習会を小赤の家で開催

5月20日、福島県三春町より避難されているNPO法人ライフケアの橋本俊彦先生をお迎えして、「手当て法」の学習会を行いました。

昔ながらの日本手ぬぐいと、和裁用の小さなアイロン(こて)を使いながら、背中やお腹、胸腺、脾臓等を

福島から長野県のみなさまへ

私は、福島市(原発から66km)に住んでいます。皆さまには、原発事故後、福島の子どもたちが「どんぐりを送ろうプロジェクト」で大変お世話になりました。

福島市も常緑樹や木の実などの植物に放射性物質が溜まっているため、図工や生活科で使用する「どんぐりや松ぼっくり」などの木の実も手に入らず、諦めかけていた所に送付して頂き本当に助かりました。

子どもたちは作品を作ったり遊んだりして、笑顔になりました。

福島市は、放射線量が事故前の10倍(現在0.35~1.0 μ Sv/h)程度あります。市の除染は中間貯蔵施設や仮置き場が決まらないために大幅に遅れています。自宅室内も線量が事故直後は0.6~1.2 μ SV/hありましたが、除染はこれからです。こんな線量にも係わらず福島県内では「安心・安全」といわれ、人々は多少不安を抱きながらも、2年経った今は普通の生活に戻りつ

ゆっくりと温めていく、というものでした。アイロンを取り出されたときには、参加者一様にドキッとした顔をしていましたが、実際に2人一組になって体に当ててみるとあちこちから「あ〜。温かい〜。気持ちいい〜」という声が聞こえてきました。

冷え症の改善や免疫力向上になるそうです。

橋本先生の講座は、第2回を9月に予定しています。お楽しみに。

6/9 小出裕章講演会

6月9日、松本市キッセイホールで行われた小出裕章助教(京大)講演会にて、森永敦子が代表質問をしました。

例えば、福一爆発事故での被ばく者(避難者)は、これ以上の内部被ばくを避けるために食べ物の産地や測定値に気を付けている人が多い

つあります。子どもたちの甲状腺検査や内部被ばく検査は殆どが終了していますが、その結果今後どうなっていくのかに、不安を抱えています。

福島に住み続けることを決めた者と、離れることを選んだ者。どちらの選択もそれぞれの家庭の事情や考えによってされていること。お互いを認め合い、原発事故で失われた諸々のことを少しずつでも補いながら、毎日前を向いて一步一步すすんでいけたらいいなと思うこの頃です。

のですが、国の決めた基準値(100Bq/kg)を高すぎているため、人と外食の時などにそのたびに、説明しなくてはならず、負担になっている現状があることなどです。

チェルノブイリ事故のベラルーシでは、40Bq/kg。ドイツ放射線防護協会では、4Bq/kgを推奨。

いずれも、小出先生は真摯にお答えくださいました。

インターネット録画がありますので、ご覧ください。

<http://iwj.co.jp/wj/open/archives/83999>

6/22「ほ」っ☆まつもと life と共同サロン開催

6月22日、大手のサポートセンターで、安曇野の芍薬堂店主 土屋 美紗子さんを講師にお迎えして、漢

今もまだ不安定な福島原発を気にしながら、また汚染を気にしながら、この先の生活を思い考えながらの生活ですが、毎日を精一杯過ごしていきたいと思います。

皆さまも、どうかわたしたちと同じ日本人として、同じ時代を交流しながら生きていきましょうね。これからも、どうか宜しくお願いいたします。

2013.06.21 福島市 高橋

方勉強会を行いました。放射能気になる気にするお母さんたちのおしゃべり会【「ほ」っ☆まつもとlife】との共同開催ということで託児をつけていただき、ゆったりとした時間を過ごすことができました。

日ごろ気になる体調や子どもの健康などに関する、漢方薬・アロマ・ハーブなどの知識をふんだんに学ぶことのできた2時間でした。

お昼を食べた後は、おしゃべり会に参加して、じっくりと話をしました。

「長野県みらいベース」へ参加しています

長野県とNPOによる新しい形の寄付募集システム「長野県みらいベース」の第一回モデル事業として、私たちの「シェアハウス浅間の家にお風呂を復活させたい」が取り上げられています。

6月17日からは、インターネット上でのカード決済ができるようになりました。

最終締切日の7月22日までに38万円が集まると、無事にお風呂をつけることができます。

寒い冬を迎える前に、みなさまのお力でお風呂を復活させていただきたいと思います。

どうぞ、ご協力・ご支援をお願いいたします。

長野県みらいベース

<http://www.mirai-kikin.or.jp/>

子ども関東ネット署名提出されました

6月7日、「放射能から子どもを守ろう関東ネット」が、衆参議員20名に「放射能被ばくから子どもを守るための対策を求める請願署名」約6万筆を提出してきました。
ご協力ありがとうございました！

ホームページがあたりくなりました

6月10日、キャンプ・プラネットさんのご協力を得て、無事にホームページの改修が終わりました。

これからも、随時内容を充実させていきたいと思っております。

巻末の「募集」をご覧ください、情報提供をお願いいたします。

9月にセバスチアン博士が再来所予定

3月に来所された、ドイツ放射線防護協会のセバスチアン・プフルークバイル博士。奥様は、実際にチェルノブイリの被ばく者の診療にあたった方です。

また9月に来所される予定とのことです。ご相談のある方は、事務局までご連絡をお願い致します。

松本市民測定プロジェクト

HP:<http://mcrms.jimdo.com/>

私たちは、3.11 の原発爆発事故以降、放射能を測定することで子どもたちの安全を守ろうと集まりました。上記ホームページで情報を公開しています。ご支援をお願いいたします。

広
告
枠

(随時
募集中)

2013年GW保養にいらした方からのメッセージ

【埼玉県・Sさん】滞在中は、大変お世話になりました。放射能を気にすることなく子供を遊ばせたり、食材の買い物もあまりストレスを感じず、久しぶりに洗濯物を外干しすることもできて、快適に過ごすことができました。

【千葉県・Yさん】おかげさまで、なんと家族移住することになりました。が、行き先は松本ではなく関西になりました。シェアハウス浅間の家に滞在して、私も避難者を支援する生活をしたいと思い、6LDKの家を手入れして借りることにしました。これからもよろしくお願いいたします。

<8月の開所カレンダー>

日	月	火	水	木	金	土
7/28	29	30	31	8/1	2	3
	小赤	小赤			小赤	七夕会
4	5	6	7	8	9	10
	小赤	小赤			小赤	←
11	12	13	14	15	16	17
	小赤	小赤			小赤	
18	19	20	21	22	23	24
	小赤	小赤			小赤	
25	26	27	28	29	30	31
	小赤	小赤			小赤	

8/3 小赤の家 七夕会(一品持ち寄り)

※詳細は後日お知らせします。

8月中「小赤の家」「シェアハウス浅間の家」保養受入期間
他、未定